

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.99

萩ジオパーク推進協議会

| 2023年5月31日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 https://hagi-geopark.jp

📘 https://www.facebook.com/HagiGeoProject



小野田の中学生が やってきた！

5月25日に山陽小野田市立小野田中学校の2年生112名が来てくれました。学校対応としては過去最多級の人数です。しかもご依頼は「生徒に“体験”をさせたい」と。これだけの大人数での体験プログラムの運用は経験がありません。定番プログラムを改良したり、新たなプログラムを開発して準備をしてきました。

当日は萩ジオツーリズム協会や笠山ジオの会の皆さんを中心に総勢11名で力を合わせて、3つの体験をご提供しました。

- ① 城下町ジオガイド（川が営む大地と暮らす）
- ② 裸足で砂浜さんぽとセルフ野点（崩れる大地と暮らす）
- ③ 火山実験（小さな火山の大家族と暮らす）

生徒さんはもちろん、先生方もみんな大盛り上がりで、最後は何人もの子たちが「楽しかったー！」と大声で叫びながらバスに向かっていました。

バスで2時間もかかる小野田中学校が、なぜ萩ジオパークに来てくれたかという、実は毎年のように来てくれている美祢市立厚保中学校にいらした先生が今年、小野田中へ異動され「引き続き利用したい」というご連絡をくださったのです。本当にありがたいご縁です。



そして、こんな大掛かりな行事を実施できたのは、萩ジオツーリズム協会と笠山ジオの会の皆さんのおかげです。最初のジオガイドが誕生してから5年ほど経ちますが、皆さん熱心に活動され経験を積んできました。それが、多少のトラブルでも臨機応変に対応したり、阿吽の呼吸で連携したり、という素晴らしい動きにつながっています。また、子どもたちとの距離感も絶妙で、のびのび自由に遊ぶ姿を見守りつつ、要所要所で新たな発見へと導く、という素敵な関係性ができていました。直前までうまくいくか不安でドキドキでしたが、大成功と言って良いのではないのでしょうか。これを機に、ますます多くの学校に来てほしいですね！

小学校でのジオパーク学習、どんどん拡大中！

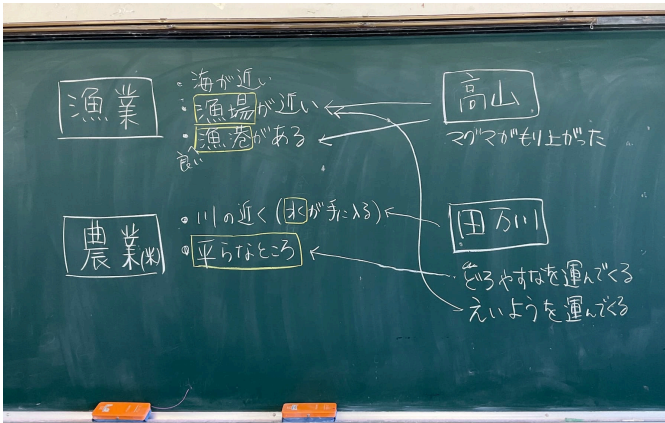
5月に入って、学校からの出前授業の依頼を続々といただいています！特に今年は、昨年とは別の学校に異動された先生から「こっちの学校でもぜひやってほしいんです！」という熱い電話を何件もいただき、すそ野がどんどん広がっているのを実感しています。

5月9日（火）川上小学校 3・4年生 【初！】

総合的な学習の時間で地域のことを学んでいく前に、ジオパークの視点を知ってもらいました。3Dメガネで地形図を立体的に見て山や谷の形が地域によって全然違うことを観察したり、萩、むつみ、川上の3地域の大地の特徴と特産品を比べてみたり、最後には川上に石灰岩という大昔のサンゴ礁の岩でできた山があるわけを、実験で確かめました。石灰岩の山は栄養が少なく、そういうところでも育つナンテンの木が自生していて、川上の特産の1つになっています。次の週には秋吉台に行ったようですが、図らずもその予習にもなったみたいです。



5月17日（水）多磨小学校 5・6年生 【初！】



多磨小学校のある田万川地域は古くから港町として栄え、米を中心とした農業も行われています。港にするならどんな場所がいいかな？田んぼってどういうところにある？鳥の目線で地域を眺めてみよう！ということで地形図を眺めながら、地域に昔からある仕事（産業）ができた理由を考えてみました。活発に意見が飛び交って、専門員が解説しようとしていたことは、ほとんど子どもたちの口から語られました。すごい！とても楽しい時間でした。

5月23日（火）長門峡スケッチ大会

山口市阿東の3つの小学校（徳佐小、さくら小、生雲小）が合同で開催する行事「長門峡スケッチ大会」で、専門員が景色の解説をしました。すっかり毎年の恒例になっていますが、今年は道の駅 長門峡の駅長さんにも手伝っていただき、一層充実した時間になりました。先生からも児童からも質問が次から次へとあふれて、大盛り上がりでした。どんな絵ができるか、楽しみです！



令和5年度 萩ジオパーク推進協議会定期総会を開催

5月23日、萩ジオパーク推進協議会定期総会が萩市役所大会議室で開催されました。

令和4年度決算及び今年度事業計画・予算等すべて可決されました。また、役員改選では白神崇監事が退任され、田辺信委員が新任となりました。このほか田中文夫会長、花田憲彦副会長、山本隆志副会長、奥山明副会長、椎木耕司副会長、岡野芳子監事が留任となりました。事務局より今年度から管理運営を行う笠山山頂展望台について近況を報告し、最後に脇田戦略顧問、柚洞戦略顧問、長岡顧問にお話をいただきました。

令和5年度は、笠山山頂展望台を活動拠点として活用するため管理運営を開始するとともに、新規事業として認定5周年記念イベントや萩ジオインストラクター養成講座などを開催します。また、永尾隆志・萩ジオパーク基金を活用して須佐海苔石休憩所展示コーナー整備などを実施します。

事務局一同皆さんと一緒に実り多き1年となる様頑張りますので引き続きよろしくお祈りします。



令和4年度 萩ジオパーク推進協議会 収支決算書

1. 収入の部					
項目	予算額	決算額	差引増減額	摘要	決算額
補助金	6,389,000	4,944,731	-1,444,269	萩市補助金 萩市補助金	4,944,731
負担金	1,000,000	1,000,000	0	専業負担金 萩市負担金 山口市負担金	400,000 600,000
雑収入	979,500	502,860	-476,640	雑収入 各種講座・体験プログラム参加費@302,600円 ジオカフェ、実験キット売上@200,200円 アドビライセンス使用料(1人分)返金、現金利息	502,860
	414	105,368			105,368
合計	8,368,914	6,552,959	-1,815,955		6,552,959

2. 支出の部						
項目	予算額	決算額	差引増減額	費目	摘要	支出実績
報酬	600,000	600,000	0	報酬	戦略顧問、アドバイザー報酬	600,000
報償費	589,000	431,822	-157,178	報償費	謝金(役員、講師、ガイド等)	431,822
旅費	1,588,848	723,993	-864,855	費用弁償 普通旅費	協議会委員、部会委員、講師等の交通費 職員の出張旅費(全国大会、研修会、各種会議)	355,533 368,460
雑費用	1,862,540	1,772,814	-89,726	消耗品費	コピー用紙・事務用品購入代、各種イベント材料費	614,917
				燃料費	ガソリン代	2,000
				食糧費	講座・イベント参加者給食代、ジオパークフェア食材	298,447
				印刷製本費	マップ、ガイドブック、パンフレット、フライヤー、封筒印刷	857,450
使用料及び賃借料	177,336	147,788	-29,548	使用料	Adobeライセンス、ジオツアー申込サイト使用料、講師宿泊代等	147,788
役員費	486,320	277,422	-208,898	通信運搬費 広告料	送料、切手代 新聞・メディア広告料	177,463 0
				手数料	振込手数料、オンライン決済手数料等	73,159
				保険料	講座・研修等参加者にかかる傷害保険料	26,800
委託料	1,125,370	812,620	-312,750	委託料	公式ホームページ保守・養成講座等	812,620
負担金補助及び交付金	1,939,500	1,786,500	-153,000	負担金	各種負担金、JGN年会費等	1,786,500
合計	8,368,914	6,552,959	-1,815,955			6,552,959

令和5年度 萩ジオパーク推進協議会収支予算(案)

【収入の部】			
費目	内容	金額	概要
補助金	萩市補助金	11,410,000	
負担金	山口市・阿武町負担金	1,000,000	山口市 600,000円・阿武町 400,000円
委託料	萩市委託料	396,000	笠山山頂展望台3階展示体験室管理委託料@33,000円×12月
基金繰入金	基金繰入金	1,000,000	永尾隆志・萩ジオパーク基金繰入金
事業収入	カフェ売上 カフェ売上 講座・ツアー参加費 物品売上	2,213,000 2,843,000	2,213,000円 萩ジオアカデミー講座 90,000円@1,500円×3回×20人 地球を食べる食堂 225,000円@2,500円×6回×15人 ジオツアー 75,000円@1,500円×10回×5人 オンラインジオツアー 40,000円@2,000円×2回×10人 マダモトル、地層ボール 100,000円@500円×200個 ジオガール 100,000円@500円×200個
雑収入	現金利息・その他雑収入	1,000	
計		16,650,000	

【支出の部】			
部	細目	金額	概要
資金	資金	2,305,800	職員資金(カフェ)
報酬	報酬	770,000	報酬(戦略顧問、アドバイザー、税理士)
報償費	報償費	949,000	謝金(支援員、講師、ガイド等)
旅費	費用弁償 普通旅費	272,008 928,780	協議会委員、講師等の交通費 職員の出張旅費(全国大会、研修会、各種会議)
雑費用	消耗品費	1,468,104	コピー用紙・事務用品、各種イベント等材料費、カフェ消耗品
	燃料費	0	マイクスタンド燃料代等
	食糧費	264,600	講座・イベント参加者給食代、イベント食材費
	印刷製本費	1,114,300	マップ、ガイドブック、パンフレット、フライヤー、ポスター、封筒印刷
	通信運搬費	258,560	送料、切手代、カフェWi-Fi料・電話
	広告料	2,101,000	3周年宣伝広告等
	手数料	106,240	振込手数料、決済手数料等
	保険料	330,700	職員社保等保険料、講座・研修等参加者にかかる傷害保険料
	委託料	2,927,090	公式WEBサイト保守、各種養成講座・展示作成等
	使用料及び賃借料	940,868	カフェ機器リース、家電、電気・水道、アドビ使用料、講師宿泊代等
負担金補助及び交付金	負担金	1,841,959	JGN年会費、山口大学社会連携推進員負担金、研修参加負担金等
雑税公課	雑税公課	71,000	法人住民税(萩・市)
合計額		16,650,000	

永尾隆志・萩ジオパーク基金			
【収入の部】			
項目	予算額	予算額	備考
前期繰越金		3,000,150	
雑収入		24	預金利息
合計		3,000,174	

【支出の部】			
項目	予算額	備考	
笠山山頂展望台ロゴ掲出等	200,000	令和5年度萩ジオパーク推進協議会予算へ繰入	
須佐海苔石海岸休憩所展示	800,000	令和5年度萩ジオパーク推進協議会予算へ繰入	
次期繰越金	2,000,174	令和6年度へ繰越	
合計	3,000,174		

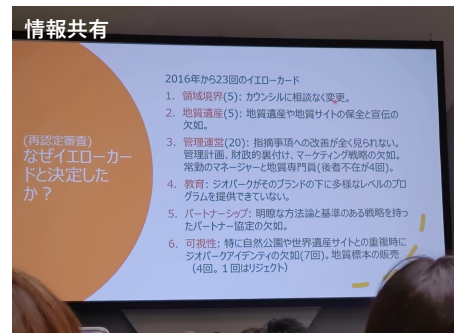
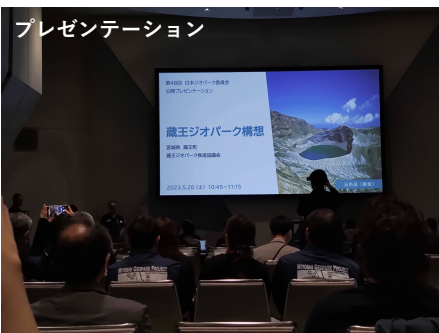
日本ジオパーク新規認定公開プレゼンテーション他 各種会議が開かれました

5月20日（土）午前中、日本ジオパーク新規認定公開プレゼンテーションが千葉県千葉市幕張メッセ国際会議場で開催されました。今年は「蔵王ジオパーク構想」（宮城県蔵王町）の1地域のみで、発表の様子を見ていると5年前緊張してプレゼン及び質疑応答に対応したことを思い出しました。

午後1時30分からは、4名の日本ジオパーク委員会委員から、最近のユネスコ世界ジオパークの動向や現地調査の経験が共有されました。コロナ禍にありながら、ユネスコ世界ジオパークは増え続け、今年の白山手取川ジオパークの新規認定を含め195地域になりました。「ジオ弁当」「ジオ○○」のように、安易に「GEO-」をつけることで逆にブランド価値が下がることを懸念する意見が出ていることも紹介されました。

3時から開催された運営会議では各種報告の後、日本ジオツーリズム協会の福島氏によるインタープリテーション研修に関する協議が行われました。インタープリテーションというガイド手法の一つと考えられがちですが、「伝える」技術として、ジオパークに関わるあらゆる人材に必要である旨説明されました。

21日（日）午前は、JpGU（日本地球惑星科学連合大会）でジオパークのパブリックセッションが行われ、「ジオパークとサステナブル」という演題で発表と議論がなされました。ジオパークを始めた一人、ギ・マルティニエ氏がビデオ講演の形で、「地球の記憶の権利に関する国際宣言（1991年）」が発出された経緯を含め、解説されました。パブリックセッションの様子は、日本ジオパークネットワークの公式Youtubeチャンネルで公開されていますのでご覧ください。



弥富では皆さんの来訪をお待ちしています

5月3日、畳ヶ淵交流事業実行委員会の皆さんが田万川の川歩き&溶岩露頭の清掃活動を行いました。川歩きは7月30日に予定されている「龍が通った道まつり」の下見として行われ、実際に行くかどうかはこの体験を踏まえて検討されますが、いつもと違う視点で見た畳ヶ淵に皆、感動していました。午後からは、昨年整備した弥富診療センター下法面の溶岩露頭の草取りを行いました。皆さんのお陰できれいな状態で見ただけできるようになりました。ありがとうございます。皆さんもぜひ、弥富に足をお運びください。



BEFORE



AFTER !

6月の予定

○ geoとも（萩ジオ友の会）定例会 6月25日（土） 内容：奥阿武の里へ～津和野から鈴野川地区へ～ 主催・問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）